

1 牧場コース〈富士地区〉

●距離：5.4km ●歩数：9,001歩

- コース
- 緑道
- 病院
- 循環バス停
- 駐車場
- 学校
- 公園
- トイレ
- 神社
- 寺院
- 石造物
- 基点・終点
- 循環ポイント

- ①西白井複合センター 700m / 1,167歩
- ②中木戸・孝心道標 1.2km / 2,000歩
- ③中野牧野馬除土手 600m / 1,000歩
- ④馬頭観音 400m / 667歩
- ⑤八幡神社・開拓記念碑 600m / 1,000歩
- ⑥富士センター 1.2km / 2,000歩
- ⑦白井木戸の弁天池 700m / 1,167歩
- ⑧西白井複合センター

富士地区は市内で最も標高が高く、平坦な台地が続いています。この地区は江戸時代になると、徳川幕府が設置したの馬の放牧場である牧となり、その境界や内部の仕切りを目的として築かれた「野馬除土手」が今でも残っています。その後、昭和21年から徐々に開墾され、「富士」・「南園」・「栄」という地名が付けられました。近くにはJRAの競馬学校もあり、馬とのつながりが深い地区です。



なかのまきの まよけどて
③中野牧野馬除土手
 近世の牧に関連する施設で、現在はごく一部が残ってるに過ぎませんが、かつては土手が長く続いており、その痕跡は送電線の下などにみることができます。土手は市指定史跡です。



なかきど こうしんどうひょう
②中木戸・孝心道標
 牧と街道の接点に設置された木戸があった跡です。孝心道標は明治26年に設置されたものです。



⑤八幡神社・開拓記念碑
 境内には開拓30年記念碑や顕彰碑があり、開拓によってまち開きされた富士地区の歴史を物語っています。



⑦白井木戸の弁天池
 この弁天池は池と浮き島からなります。かつては上流側に八幡溜溜池があり、鎌倉時代に小金原で生まれた馬が水を飲みにきたという伝承が残っています。



④馬頭観音
 明治40年に建てられたもので、野馬除土手の裾にあります。

